

自動車騒音の面的評価結果

面的評価支援システム（環境省）により自動車騒音の面的評価を実施し、評価結果を全体、評価区間別にまとめて評価を行った。

① 面的評価結果（全体）

今年度の評価区間の面的評価結果は、表 9 及び図 5 に示すとおりである。

環境基準達成率（昼間・夜間とも環境基準以下であった住居等の割合）は、全体で 37.3% と低い割合であった。近接・非近接空間別では、近接空間で 0%、非近接空間で 47.5% であり、近接空間の環境基準達成率が非近接空間よりも低い値であった。

騒音実測値が環境基準を超過しており、その影響で環境基準達成率の減少がみられた。

表 9 自動車騒音の面的評価結果（全体）

項目	面的評価結果(戸数)					面的評価結果(%)				
	評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e	昼間・夜間とも基準値以下 b	昼間のみ基準値以下 c	夜間のみ基準値以下 d	昼間・夜間とも基準値超過 e	評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e	昼間・夜間とも基準値以下 b	昼間のみ基準値以下 c	夜間のみ基準値以下 d	昼間・夜間とも基準値超過 e
全体	51	19	5	0	27	100.0	37.3	9.8	0.0	52.9
近接空間	11	0	1	0	10	100.0	0.0	9.1	0.0	90.9
非近接空間	40	19	4	0	17	100.0	47.5	10.0	0.0	42.5

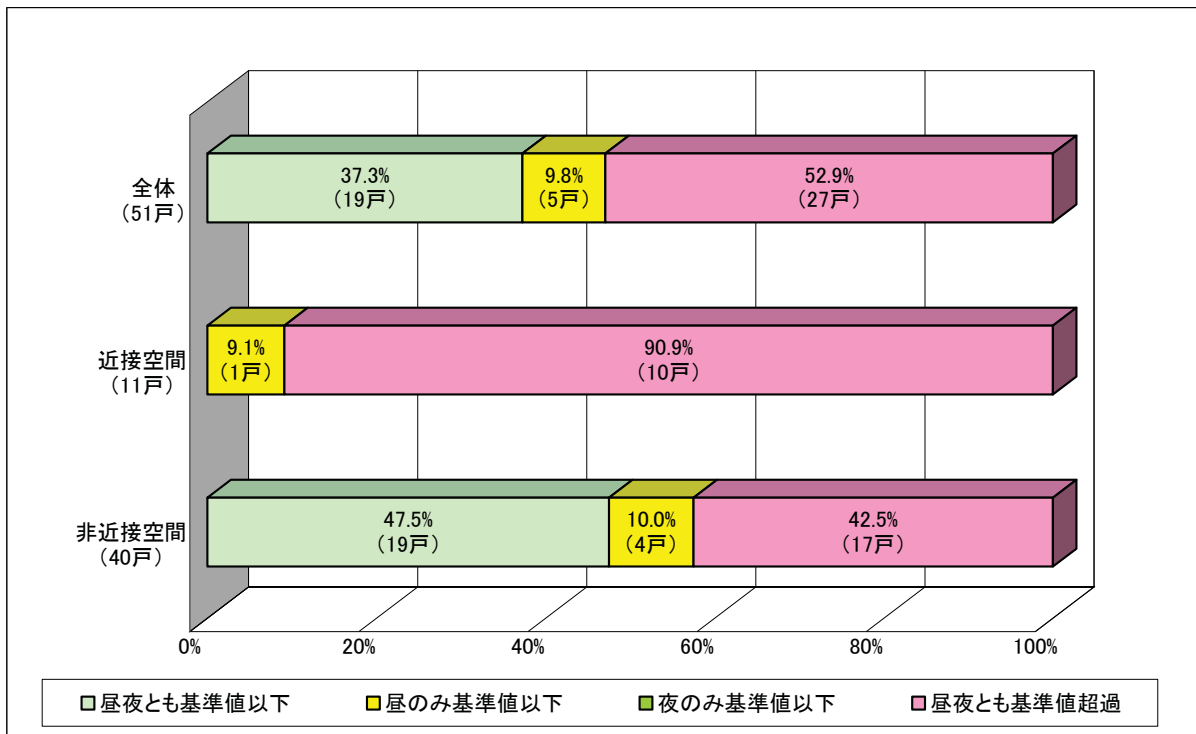


図 5 自動車騒音の面的評価結果（全体）

② 面的評価結果（評価区間別）

今年度の評価区間別の自動車騒音の面的評価結果は、表 10 及び図 6 に示すとおりである。

10120-1 区間～10120-4 区間は基準点騒音レベルが環境基準を超過しており、尚且つ近接空間より環境基準が厳しくなる、非近接空間でも環境基準を超過しているため、その影響で環境基準達成率が低い結果であった。

10120-5 区間は対象となる住居等建物が確認されなかった。

10120-6 区間は基準点騒音レベルが環境基準を超過しているが、沿道に住居等建物が確認されなかった。

10120-7 区間は基準点騒音レベルが環境基準を満たしており、100%という結果であった。

表 10 自動車騒音の面的評価結果（評価区間別）

評価区間	面的評価結果(戸数)					面的評価結果(%)					
	評価対象 住居等 戸数	昼間・夜間 とも基準値 以下	昼間のみ 基準値 以下	夜間のみ 基準値 以下	昼間・夜間 とも基準値 超過	評価対象 住居等 戸数	昼間・夜間 とも基準値 以下	昼間のみ 基準値 以下	夜間のみ 基準値 以下	昼間・夜間 とも基準値 超過	
	a=b+c+d+e	b	c	d	e	a=b+c+d+e	b	c	d	e	
全体	51	19	5	0	27	100.0	37.3	9.8	0.0	52.9	
一般国道19号	10120-1	13	6	3	0	4	100.0	46.2	23.1	0.0	30.8
	10120-2	21	5	0	0	16	100.0	23.8	0.0	0.0	76.2
	10120-3	10	2	2	0	6	100.0	20.0	20.0	0.0	60.0
	10120-4	3	2	0	0	1	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	10120-5	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10120-6	2	2	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	10120-7	2	2	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

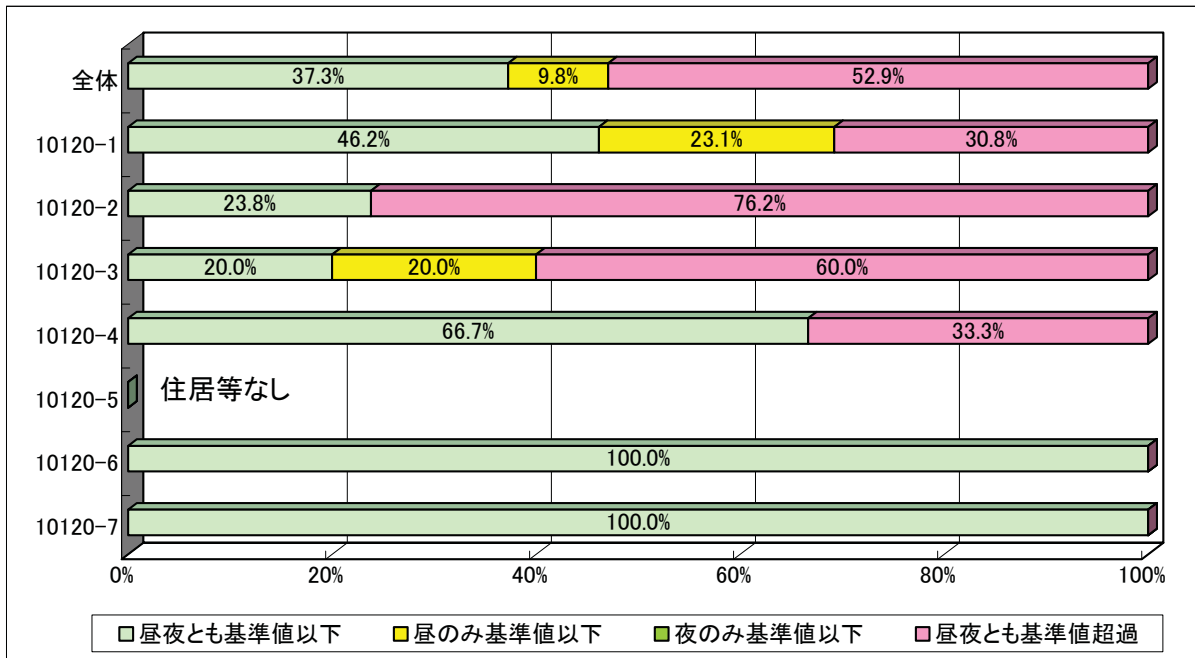


図 6 自動車騒音の面的評価結果（評価区間別）